



梅シロップをつくりました!



畑の赤紫蘇を収穫して、赤紫蘇ジュースを作りました
☺暑い日の水分補給にピッタリです!
使った紫蘇は、乾燥させて、ふりかけにします。



▼味噌ができた!
2月に仕込んだ味噌を開けてみました。今年はカビもなく、大成功です。これから1年かけてつかっていきます。



▼百合の花が咲いた
4月に植えた百合の花が咲きました。大きな立派な百合です。



▼じゃがいも収穫
じゃがいもを収穫しました。少しの面積でも豊作でした!



▼豆腐作り
豆から手作り豆腐作りをしました!



twitter

carestanakamach



Facebook

caresta.day



instagram

care.sta



作業療法士監修

一軒家“まるごと”生活リハビリ型デイサービス

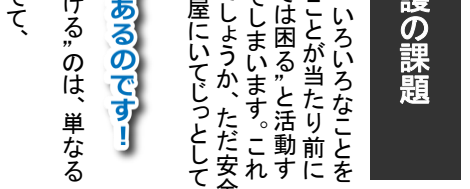
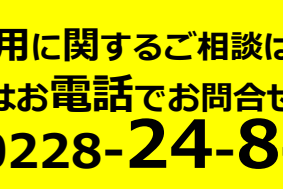
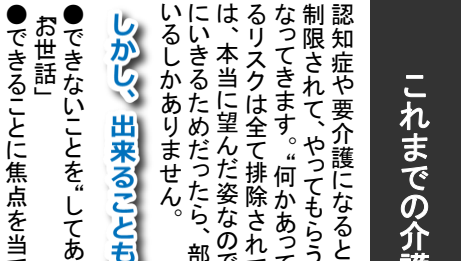
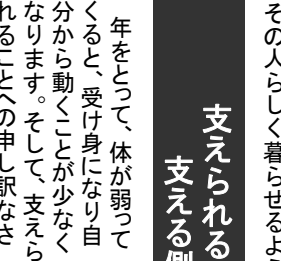
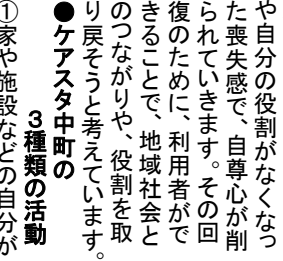


生活リハビリとは？
 “自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できることを見つけ出し、生活動作として毎日繰り返すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。”
 テーブルを拭く、ご飯をよそう、配膳を手伝う、衣服の着脱を自身で行うなど、生活のなかのあらゆる場面で、ご利用者が現在できることは可能な限りご自身で行っていただきます。また、少しだけ頑張っていたたくさん選択プログラムもご用意しております。そのことが、生活の質の維持・向上につながるかと考えるからです。
 さらに、ケアスタ中町では、お一人おひとりのご利用者の心に潜んでいる「してみたいこと」を一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。
様々なプログラムがありますので、集団になじめない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムもご用意しております。

認知症の人は、なじみの生パン作り、パイキング、コーヒータン、ノルディックウオーキングなど、紙面上では紹介しきれないプログラムを多数ご用意しております。それぞれのプログラムに目的と効果を設定して、プログラムを行う事で日常生活動作の訓練を楽しみながら行う事ができます。

20種類以上の選択プログラム
 “なじみの作業記憶”を活用
 認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやらされていることへの怒りを感じることもあるでしょう。一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていてくれることがあります。認知症の人は、そうした「体が覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずすすみます。

「なじみの作業記憶」を活用
 認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやらされていることへの怒りを感じることもあるでしょう。一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていてくれることがあります。認知症の人は、そうした「体が覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずすすみます。



ご利用に関するご相談はLINE
 またはお電話でお問合せ下さい！
☎0228-24-8456

これまでの介護の課題
 認知症や要介護になると、いろいろなことを制限されて、やってもらうことが当たり前になってきます。“何かあつては困る”と活動するリスクは全て排除されてしまいます。これは、本当に望んだ姿なのでしょう。ただ安全にいけるためだったら、部屋にいてずっといるしかありません。
“つかう” 出来ることもあるのです！
 ●できないことを“してあげる”のは、単なる“お世話”
 ●できることに焦点を当てて、その人らしく暮らせるようにするのが「介護」
支えられる側から 支える側へ